

新庁舎建設基本構想・基本計画

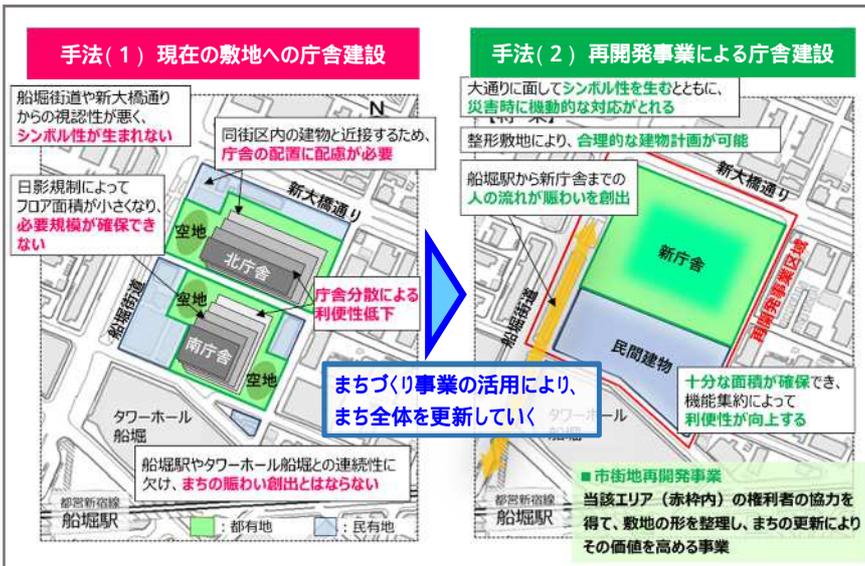
策定委員会ニュース 第10号 (2020.10.27 発行)

《第10回策定委員会の概要》

令和2年10月19日(月)に開催した第10回策定委員会は、第8回・第9回と同様、1か所に集まらない「Web会議」として開催しました。今回は「建設地の概要、建設手法とコスト等」について事務局からの説明後、意見交換を行いました。

- | | | |
|---|--|------|
| 1 | 開会 | 【次第】 |
| 2 | 委員長挨拶 | |
| 3 | 新庁舎建設基本構想・基本計画(案)の内容検討「建設地の概要、建設手法とコスト等」 | |
| 4 | その他 | |
| 5 | 閉会 | |

はじめに、建設地の状況や課題を踏まえて再開発事業を活用する趣旨(下左図)や、建設地の都市計画条件について、認識の共有を図りました。さらに利用者のアプローチが、自動車やバス利用、船堀駅からの徒歩など様々な方法があることを想定した、「アクセス計画」の考え方も示しました。また、新庁舎の「供用開始」の目標年次を令和10年度(2028年度)とするとともに、概算費用や考えられる財源、さらに、これまでの策定委員会での意見を踏まえた「新庁舎のイメージ図」を確認した後、意見交換を行いました。



＜再開発事業を活用した際の効果＞

	新庁舎	再開発
R2年度(2020)	基本構想・基本計画	・準備組合 ・基本構想
R3年度～ R4年度	基本設計方針	・事業協力者選定 ・基本設計方針
R5年度～ R6年度	再開発組合が新庁舎と民間建物を一体で実施(区が庁舎部分監修)	・基本設計 ・実施設計
R7年度～ R9年度		・建築確認手続き ・工事
R10年度(2028)	移転・供用開始	

＜想定スケジュール＞

委員からの主な意見

現状の不整形な敷地に庁舎建設を行った場合の課題や、再開発事業による庁舎建設の利点が理解できた再開発事業を行うことで、供用開始までに時間を要するが、丁寧に検討がなされ活気ある街になるとよいスケジュールについて、供用開始までの時間の使い方が大切。期待が高まるような仕組みがあるとよい財源について、基金の備えがあることを理解できた。無駄が無いよう活用してほしい
浸水対応型を意識した『高台まちづくり』によって、周辺地域に安心を与えられる拠点になるとよい

《第11回開催の予定》

日程：令和2年12月18日(金)13:30～
内容：基本構想・基本計画(案)の確認など
次回もWeb会議による開催を予定



新庁舎建設に向けたご意見を募集しています。詳しくは区ホームページ(左の二次元コード)をご覧ください。
発行：新庁舎・大型施設建設推進室
新庁舎建設推進担当課
電話：03-5662-2605